

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適用 措置	感染症(PT)	出典	概要
												HIV	Eurosurveillance 2007; 12(5): E070524.5 2007年5 月24日	AIDS最新号において、LikataviciusらはEuroHIV surveillance network によるヨーロッパの供血液のHIV 陽性率についての14年間のモニタリングデータを提示し た。この分析は、1990-2004年のWHO欧州地域のデータ が網羅されている。2000-2004年の10万供血中の平均 HIV陽性率は西欧1.7、中欧3.4、東欧36.7であった。1990 年以降の変化では、西欧で低下、中欧で横ばい、東欧で は急激な上昇が認められた。
												麻疹	asahi.com 2007年4 月18日	東京都や埼玉県など関東地方ではしかが流行しているこ とが、国立感染症研究所感染症情報センターがまとめた 定点調査でわかった。例年より流行は早く、人の移動が 活発になる連休に向けてさらに広がることが予想されると して、同センターは緊急情報を出して注意を呼びかけてい る。同センターによると、例年、はしかの発症は乳幼児に 多いが、今年の流行は10代前半や大人に多いのが特徴 という。
												ウイルス感染	Proc Natl Acad Sci USA 2007; 104: 11424-11429	マレーシアMelakaで、高熱と急性呼吸器疾患に罹ってい た39歳男性から未知のDreovirusが分離され、Melaka virus と名づけられた。患者の家族も発症したが、この家族は 発症前にコウモリと接触していた。遺伝子配列分析によ り、Melakaウイルスは1999年に同国Toman島のオオコウ モリから分離されたDreovirusであるPulauウイルスと密接な 関係があることが示された。同島住民の血清スクリーニン グで、108例中14例(13%)が同ウイルスに陽性であった。
												ウイルス感染	ProMED-mail 20070702.2108	2007年6月22日、ミクロネシアのヤップ保健局で集められ た血液検体をCDCの研究所で検査した結果、ヤップでの 最近の疾病はジカウイルスが原因らしいことが示された。 ヤップのアウトブレイクは2007年4月に始まり、5月後半に ピークに達し、現在も続いている。症状は斑点状丘疹、結 膜炎、関節痛など軽症で、4-7日間続く。6月29日現在、42 例がPCRとIgM分析によってジカウイルス感染と確定され た。死亡例はない。